

アンケート調査へのご協力をお願い

いつも葉山町政発展のためご尽力いただきありがとうございます。

さて、葉山町においては、既に来年度予算編成に向けて作業に入っていますが、厳しい不況が続くなか、住民の生活に直結した教育や福祉に必要な予算が確保できるのか大変心配です。

税収増が期待できない今日の不況下にあっては、経費の削減が何より必要と考えます。かねて私どもの会は、県下一高額なごみ処理の現状を改め、環境にとっても町の財政にとっても望ましいごみ処理のあり方を追求してきました。行政には、限られた資源の節約や環境の保全という極めて今日的な課題への対応のほか、厳しい財政環境のなか行政経費の節減に努めつつ、住民の生活を守り向上させるという使命が本来あります。

しかるに、現在葉山町がとっているゼロ・ウェイスト政策につきましては、日々発生するごみの排出抑制と分別作業を住民に求めるばかりで、住民生活に必要な公共サービスを提供するという行政の責務に照らして疑問が残るうえ、何よりも高額なごみ処理費を減らすという点において、町の姿勢に不十分さを感じます。

私どもの会は、一年近い取り組みのなかで、葉山町のごみ処理行政が極めて非効率であること、そしてその解決策に問題が多いことを確信するに至りました。そこでこのたび、町の廃棄物処理行政に内在する問題を浮き彫りにし、その結果を町民に知らせるとともに、あわせて町会議員の皆さんと連携して町長に問題提起をするため、アンケート調査を実施させていただくことにいたしました。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、私ども「ごみ問題から葉山を救う会」の会員、並びに会の活動に賛同されている多くの町民の皆さんの真摯な気持ちを斟酌され、ご協力くださいますようお願いいたします。

勝手ながら、**11月10日(火)**までにご回答いただきたく、返信用封筒を同封させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、この調査結果は取りまとめのうえ、町会議員の皆さんにご報告させていただくとともに、町民の皆さんにお知らせすることを考えていますので、予めご承知置きください。

アンケート回収結果：回収率 100%

	アンケート回答率 (17人:100%)	人数(人)
全問回答無	5.9%	1(森)
文章回答	11.8%	2(阿部・近藤)
一部回答	17.6%	3(土佐・畑中・山梨)
全問回答	64.7%	11(伊東・伊藤友・笠原・加藤・金崎・佐野・鈴木知・鈴木道・中村・待寺・守屋)

アンケート調査

質問をお読みのうえ、該当する番号を○で囲んでください。恐れ入りますが、回答者氏名欄にご記入のうえご回答をお願いします。

ご回答者氏名 _____

《財政について》

問1 平成22年度の葉山町の歳入額について、現行の税財政制度を前提とした場合、どのような見通しをおもちですか。

- ① 平成21年度を下回ると思う。
- ② 平成21年度並みは確保できると思う。
- ③ 平成21年度を上回ると思う。

回答結果：問1. 平成22年度歳入について

	割合 (17人:100%)	人数(人)
平成21年度を下回る	76.5%	13(阿部・伊東・笠原・加藤・金崎・近藤・鈴木知・鈴木道・土佐・中村・畑中・守屋・山梨)
平成21年度並みは確保	17.6%	3(伊藤友・佐野・待寺)
平成21年度を上回る	0.0%	0
回答無	5.9%	1(森)

問2 本年9月8日発行のNPO法人葉山町民オンブズマン会報によれば、「町長、歳出10%削減に意欲」とあります。同会報で「歳出削減は行政サービスの低下を招きかねない」という議員の方の意見を紹介していましたが、毎年のように経費削減を繰り返してきたなかでの更なる10%の削減は、事業の廃止や事実上の事業執行不能を招来しかねないなど、町民の福祉や教育に深刻な影響を及ぼすことが懸念されます。

歳出を10%削減しても、行政サービスを低下させないことが可能とお考えですか。

- ① 行政サービスを低下させないことは可能だ。
- ② 行政サービスは低下せざるを得ない。
- ④ やってみなければ分からない。

回答結果：問2. 10%削減で行政サービスは低下しないか

	割合 (17人:100%)	人数(人)
低下させないことは可能	0%	0
低下せざるを得ない	76.5%	13(阿部・伊東・伊藤友・笠原・加藤・金崎・近藤・佐野・鈴木知・鈴木道・中村・守屋・山梨)
やってみなければわからない	5.9%	1(待寺)
不明・回答無	17.6%	3(土佐・畑中・森)

《ごみ処理費用について》

問3 葉山町の平成19年度の決算によれば、一般会計に占める一般廃棄物処理費は13.7%となっています。これはし尿処理費を含めたものですが、例えば、この比率を神奈川県下全市町村平均の4.5%並みにするだけで、毎年7億円を超える予算が捻出できる計算になります。即ち、次代を担う葉山の子どもたちの教育や高齢化が進む福祉に、さらに数億円もまわせるということです。この現状についてどうお思いですか。

- ① 市町村の事情は様々であり、葉山町には葉山町の経緯や事情がある。一概に悪いとか高いとかはいえない。
- ② 各市町村の立地条件や産業構成、行政ニーズが様々だとはいえ、県下市町村の平均の3倍というのは高すぎる。
- ⑤ その他（具体的に ）

回答結果：問3. ごみ処理費用について

	割合 (17人:100%)	人数(人)
一概に高いといえない	5.9%	1(土佐)
高すぎる	76.5%	13(阿部・伊東・伊藤友・笠原・金崎・近藤・佐野・鈴木知・鈴木道・中村・待寺・守屋・山梨)
その他	5.9%	1(加藤)
不明・回答無	11.8%	2(畑中・森)

問4 当町の平成19年度のごみ処理費はトン当たり75,403円で、神奈川県下全市町村の平均36,798円の2倍、当町に次いで高額な寒川町の56,317円と比較しても2万円近くも高いという、まさに県下ダントツの高さとなっています。

私たちは、この厳しい財政状況のなか、歳出をさらに10%削減せざるを得ないのであれば、まずこのごみ処理費に徹底的にメスを入れるべきだと考えています。このことについてどうお考えになりますか。

- ① 全政策・事業も見直しつつ、ごみ処理費に徹底的にメスを入れることが必要と考える。
- ② 予断をもってごみ処理費を削減する考えには反対。全政策・事業について聖域なく見直すことによって削減すべきだ。

回答結果：問4. ごみ処理費にメスを入れるべきか

	割合 (17人:100%)	人数(人)
徹底的にメスを入れる必要有り	88.2%	15(阿部・伊東・伊藤友・笠原・加藤・金崎・近藤・佐野・鈴木知・鈴木道・土佐・中村・山梨・待寺・守屋)
予断をもってごみ処理費を削減する考えには反対	5.9%	1(畑中)
回答無	5.9%	1(森)

問4で①を選んだ方のみお答えください。

問4-(1) ごみ処理費のうち、どの経費に特にメスを入れますか。(複数回答可)

- ① 収集に係る経費
- ② 焼却に係る経費
- ③ クリーンセンターでの仕分け・分別に係る経費
- ④ 処理業者委託費
- ⑤ その他(具体的に)

回答結果：問4-(1)どの経費にメスを入れるか(徹底的にメスを入れる必要有りと答えた 15 人中)

	割合 (15 人:100%)	人数(人)
収集に関わる経費	52.9%	9(伊東・伊藤友・加藤・金崎・鈴木道・中村・待寺・守屋・山梨)
焼却に関わる経費	52.9%	9(伊東・伊藤友・加藤・金崎・佐野・鈴木知・鈴木道・中村・山梨)
クリーンセンタの仕分け・分別 経費	11.8%	2(佐野・山梨)
処理業者委託費	64.7%	11(伊東・伊藤友・金崎・佐野・鈴木知・鈴木道・土佐・中村・待寺・守屋・ 山梨)
その他	23.5%	4(笠原・加藤・土佐・山梨)

問4で②を選んだ方のみお答えください。 → → → → → 回答無し

問4-(2) 経費削減にどのように取り組みますか。(複数回答可)

- ① 不要不急事業を徹底的に洗い出す。
- ② 人件費について徹底的に見直す。
- ③ 無駄を徹底的に洗い出す。
- ④ その他(具体的に)

《ゼロ・ウェイスト政策について》

問5 町長は5年後(平成 25 年度)に50%まで減量できるといっていますが、5年後に達成できるとお考えですか。

- ① 5年後に達成できる。
- ② 5年後には50%まで減量できない。
(何%まで減量できると考えますか。 _____%まで)
- ③ その他
(具体的に)

回答結果：問5. 5年後にごみ 50%減量達成は可能か

	割合 (17 人:100%)	人数(人)
達成可能	0.0%	0
出来ない	52.9%	9(伊東・伊藤友・笠原・加藤・鈴木知・鈴木道・中村・待寺・守屋)
その他	35.3%	6(阿部・金崎・近藤・佐野・土佐・畑中)
回答無	11.8%	2(森・山梨)

回答結果：何%まで減量できるか(徹底的にメスを入れる必要有りと答えた 9 人中)

	割合 (9 人:100%)	人数(人)
10～20%まで減量	22.2%	2(笠原・守屋)
20～30%まで減量	66.7%	6(伊東・伊藤友・加藤・鈴木知・中村・待寺)
30～40%まで減量	11.1%	1(鈴木道)

問 6 平成 21 年 1 月 13 日に生活環境部長名でゴミ問題特別委員会に提出された資料によれば、平成 25 年度のごみ量 50%減量時には、町のごみ処理費用は 18 年度の 954,699 千円から、748,600 千円と 2 億円ほど減ると試算されています。

ゼロ・ウェイスト政策の財政削減計画について、あなたはどう評価されますか。

- ① ほぼ計画通りごみ処理費用を削減できると思う。
- ② 可燃ごみと不燃ごみが半減できても、現焼却施設稼働にかかる人件費等が半減できるわけではなく、また資源化物が増加することによって資源化関連経費が増加するので、ごみ処理費用の削減効果は資料でいうほど期待できない。
- ③ ごみの減量に成功しているといわれる鎌倉市など他都市の事例を見ても、達成までに長い年月が掛かっている。50%減量達成に遅れが見込まれるうえに、上記②の事情が重なるので、ごみ処理費用の削減はあまり期待できない。
- ④ 上記③に加えて、一層老朽化が進む焼却施設の補修や手狭なクリーンセンターでの増加する資源物の非効率な分別作業などにより、費用が増える心配すらある。
- ⑥ 分からない。

回答結果：問 6. ゼロウェイスト削減計画について

	割合 (17 人:100%)	人数(人)
ほぼ削減可能	0.0%	0
資料ほど期待できない	29.4%	5(伊藤友・佐野・鈴木知・鈴木道・土佐)
あまり期待できない	41.2%	7(伊藤友・笠原・加藤・鈴木道・中村・待寺・守屋)
むしろ増加する	23.5%	4(伊東・笠原・金崎・鈴木知)
わからない	0%	0
その他	17.6%	3(阿部・近藤・畑中)
回答無	11.8%	2(森・山梨)

《一般廃棄物の処理責任について》

問 7 廃棄物処理法における地方公共団体の責務に照らして、地方公共団体のあり方として、次のどちらがより適切な考え方だと思いますか。

- ① 一般廃棄物の処理は、本来、市町村の責務であり、できる限り自区内で処理するよう努めるべきだ。それが困難な場合、まず近隣自治体との共同処理の方策を追求すべきで、民間処理業者委託は、やむを得ない場合に行うというのが法の趣旨だ。
- ② 廃棄物処理法にはすべて市町村が処理せよとは書かれていない。したがって、民間処理業者委託による処理は、自治体間の連携による広域処理と同様、選択肢の一つである。

回答結果：問 7. 一般廃棄物処理責任について

	割合 (17 人:100%)	人数(人)
自区内・共同処理、やむを得ぬ場合委託	64.7%	11(阿部・伊東・笠原・加藤・金崎・近藤・佐野・鈴木知・土佐・中村・畑中)
委託も選択肢の一つ	23.5%	4(伊藤友・鈴木道・待寺・守屋)
回答無	11.8%	2(森・山梨)

問 8 ゼロ・ウェイスト政策の推進にも拘わらず、処理しなければならないごみが残ってしまった場合、廃棄物処理法にもとづき、地方公共団体として責任をもって適正に処理しなければなりません。

どのような方法で処理すべきと思いますか。

- ① 町単独で処理施設を建設して処理する。
- ② 民間のごみ処理業者に委託して処理する。
- ③ 近隣の自治体と共同して処理する。
- ④ その他 ()

回答結果：問 8. 廃棄物処理方法について

	割合 (17 人:100%)	人数(人)
町単独の処理施を建設	17.6%	3(阿部・近藤・畑中)
民間業者委託	29.4%	5(伊藤友・鈴木道・土佐・待寺・山梨)
近隣自治体と協同で	76.5%	13(伊東・伊藤友・笠原・加藤・金崎・佐野・鈴木知・鈴木道・土佐・中村・待寺・守屋・山梨)
その他	0%	0
回答無	5.9%	1(森)

《一般廃棄物処理計画について》

問 9 廃棄物処理法は、第 6 条で「市町村は、当該市町村の区域内の一般廃棄物の処理に関する計画（以下「一般廃棄物処理計画」という。）を定めなければならない。」と定めています。この一般廃棄物処理計画について、町は現基本計画において「5 年毎、又は諸条件に大きな変動があった場合には随時見直しを行うものとする」と明記しています。本年 10 月 2 日開催のごみ問題特別委員会において、生活環境部長は期限の切れる平成 23 年 3 月までに策定するという考えを示していますが、新計画策定についてどうお考えですか。

- ① 町の方針通り、平成 23 年 3 月までに策定すればよい。
- ② 現町長になってから、ごみ処理方針が広域処理からゼロ・ウェイスト政策へと根本から変更になった。現計画の趣旨に沿って早急に新ごみ処理基本計画を策定すべきだ。
- ③ 策定する必要はない。

回答結果：問 9. 廃棄物処理計画について

	割合 (17 人:100%)	人数(人)
町の方針の平成 23 年 3 月までに策定	0.0%	0
早急に策定すべき	94.1%	16(阿部・伊東・伊藤友・笠原・加藤・金崎・近藤・佐野・鈴木知・鈴木道・土佐・中村・畑中・待寺・守屋・山梨)
必要なし	0.0%	0
回答無	5.9%	1(森)

問 10 葉山町のごみ処理の方向について、考えられる方策を次に列挙しました。あなたの考えに最も近いものを 1 つ選び、その理由を下欄にご記入ください。

- ① ゼロ・ウェイスト政策を確実にすすめる。(ごみが無くなるまでの間は、現焼却施設による焼却と民間処理業者委託によって処理。)
- ② 葉山町単独で処理施設を整備する。
- ③ 近隣自治体との広域処理を進める。
その相手は次のうち何処がよいとお考えですか(複数回答可)。
鎌倉市 逗子市 三浦市 横須賀市 その他()
- ④ 民間処理業者に委託して処理する。
- ⑤ その他 (具体的に)

【理由】

回答結果：問 10. ごみ処理方法について

	割合 (17 人:100%)	人数(人)
ゼロウェイスト政策を確実に進める	29.4%	5(阿部・近藤・鈴木道・土佐・畑中)
町単独処理施設整備	0.0%	0
近隣自治体と広域処理	70.6%	12(伊東・伊藤友・笠原・加藤・金崎・佐野・鈴木知・鈴木道・中村・待寺・守屋・山梨)
民間業者委託	5.9%	1(山梨)
その他	0%	0
回答無	5.9%	1(森)

その相手自治体は

逗子	41.7%	5(伊藤友・笠原・佐野・待寺・守屋)
鎌倉	16.7%	2(伊藤友・待寺)
横須賀	33.3%	4(笠原・加藤・佐野・中村)
三浦	33.3%	4(伊藤友・笠原・佐野・中村)
横浜	8.3%	1(笠原)
大磯	8.3%	1(伊藤友)
二宮	8.3%	1(伊藤友)
記載無	8.3%	1(森)

問 10 で、②または③を選択された方のみお答えください。

問 11 町の焼却施設は毎日点火・消火を行うバッチ炉であるうえ、老朽化が進んでいるため、修繕費用が嵩んだり排ガス・臭気等の問題があります。

町の一般廃棄物処理計画を早急に策定して、葉山町のごみ処理方針を明確にし、そのうえで現施設の使用を廃止し、期限を切ってそれまでの間、横浜市等近隣自治体に焼却処理をお願いする方策が考えられます。この考えについてどう思われますか。

- ① 検討に値する。
- ② 検討に値しない。

回答結果： 問 11. 近隣自治体への焼却依頼

	割合 (17 人:100%)	人数(人)
検討に値する	70.6%	12(伊東・伊藤友・笠原・加藤・金崎・佐野・鈴木知・鈴木道・中村・待寺・守屋・山梨)
検討に値しない	0.0%	0

以上です。ご協力ありがとうございました。

なお、当該調査または当会へのご意見等がございましたら、下欄にご記入ください。

【この調査に関する問合せ先】 ごみ問題から葉山を救う会 中村和雄 TEL・FAX：875-6925

E メール：nakazuchan@y2.dion.ne.jp